



## 外国出張報告書

平成 26 年 9 月 21 日

1. 出張国名     マレーシア、オーストラリア
2. 出張月        平成 26 年 5 月～9 月
3. 出張目的
  - 1) マレーシア・フタバガキ択伐林業の持続性評価に係る実生の成長量計測と DNA の収集及び ATBC（熱帯生物学と保護のための協会）2014 シンポジウム参加、
  - 2) オイルパーム幹中の糖・デンプン濃度測定、  
開花結実フェノロジー観測と RNA 調整実験：C

#### 4. 成果の概要

持続的林業Ⅱに関して、セラヤの実生成長を 2 年以上にわたり計測して観察したところ母樹毎に成長分布のパターンが異なることを見いだした。

成長に関わるゲノム領域の特定に向けて MTA を締結した上で

これら実生の DNA を持ち帰り、RAD-seq 法を用いてゲノム情報の大量収集を行った。

これまでの成果を ATBC2014 で報告した。

アジアバイオマスに関して、繁殖成長の季節パターンを明らかにした上で、幹中の糖、デンプン量の季節変動を明らかにするために、コアサンプル及び RNA 用サンプルを採集し、整備した。